

# 第2回定例会を開催

## 平成21年度一般会計予算など55議案を可決・答申

第2回定例会が2月23日から3月25日までの日程で開催されました。平成21年度一般会計予算など55議案の提案があり、本会議のほか、各常任委員会及び本定例会初日に設置された予算審査特別委員会で審議されました。

予算案等については原案どおり可決され、諮問については適任と認め答申されましたが、予算についての附帯決議や糸魚川市一般廃棄物最終処分場の安全対策に関する決議、糸魚川市の一連の不祥事に対する問責決議が、それぞれ決議されました。各委員会に付託された請願、陳情については、14頁をご覧ください。

### 予算審査特別委員会を

#### 設置し審査

平成21年度の一般会計、特別会計及び企業会計の予算については、第2回定例会初日に議長を除く議員28人で構成する予算審査特別委員会(委員長・松田昇、副委員長・田原実)を設置し、審査しました。

### 集約事項

#### 【議会費】

議会職員人事に当たっては事前に議長、副議長への協議を十分に行うこと。また議会議員報酬については、特別職報酬等審議会において、議員活動の内容が十分に伝わるよう配慮し、審議を行うこと。

#### 【老人福祉費】

高齢者おでかけバス事業の実施に伴う高齢者交通費助成事業の廃止を見直し、交通弱者の利便性確保のためにタクシー券等の交付を早急に検討し復活すること。

#### 【じん芥処理費】

ごみ処理施設管理運営費等ごみ処理施設、一般廃棄物最終処分場に関する予算を一旦凍結し、予算審査特別委員会と同じ構成員である糸魚川市一般廃棄物最終処分場調査対策特別委員会にて内容を審議し、その結果をもって予算審査特別委員長の判断により凍結の解除をする。

#### 【柵口温泉事業】

将来を見据えた経営計画を示し、民間委託を視野に入れて目的別に予算計上すべきである。また、利用者増大のための取り組みを強化し集客すべきである。

なお、一般会計予算全体を通じて、施設の新設改良に当たっては、環境に配慮した自然エネルギーの活用を行うよう意見、要望がありました。また、集落排水・浄化槽事業特別会計予算について、多くの委員の質疑、意見があり、最終的に次の附帯決議を全会一致で可決し、原案のとおり可決いたしました。

#### 【附帯決議】

- 1 処理場運転管理については、能生地域、青海地域とも市直営で管理すること。
- 2 技術者の確保が出来ないなどの状況によっては、青海地域の処理場運転管理は、平成20年度受託者以外の第三者に委託すること。
- 3 この措置は、平成21年度の1年間をめどとする。

一般会計、特別会計及び企業会計の予算については、採決の結果、いずれも原案可決となりました。

## 常任委員会報告

### 【総務財政常任委員会】

糸魚川市職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について、糸魚川市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について等の条例8件、補正予算2件、その他1件の合計11議案を審査し、原案どおり可決しました。

### 【建設産業常任委員会】

糸魚川市企業立地促進条例の一部を改正する条例の制定について、糸魚川市漁港管理条例の一部を改正する条例の制定について等の条例3件、補正予算6件の合計9議案を審査し、原案どおり可決しました。

### 【文教民生常任委員会】

糸魚川市障害者自立支援施設条例の制定について、糸魚川市青海総合福祉会館条例の一部を改正する条例の制定について等の条例10件、補正予算3件、その他2件の合計15議案を審査し、原案どおり可決しました。

## 予算審査特別委員会



田原副委員長



松田委員長

同委員会では、平成21年度の一般会計予算をはじめ、11件の特別会計予算、2件の企業会計予算の14議案について審査しております。審査の過程において、「世界ジオパーク認定に向けた取り組み」「健康づくりセンター整備事業の設計変更」「市民健康増進施設助成補助金の見直し」「スカイパーク事業におけるリフト事故の対応」「中学生海外派遣事業の制度の見直し」などについて、活発な質疑や意見交換が行われました。こうした審査の結果、次の4つについて委員会集約がなされております。

諮ることとする。(次頁参照)